

## 2 風水害が発生したら

風水害への対応は、正確な気象情報の収集、迅速な判断と行動が求められます。  
 家族の安全と財産を守るためには、  
 日頃からの備えと気象情報や避難についての知識・情報が必要です。

### 避難準備

家族と連絡を取り合い、非常持出品の用意をする。  
 避難行動要支援者(自主避難が困難な方)など、特に避難に時間を要する方は、家族や近所の方などに支援を求め、避難所への避難を始める。

### 避難勧告

避難所への避難を始める。

### 避難指示

直ちに避難する。  
 浸水などで余裕がなければ、高く頑丈な建物に移るなど、身の安全を確保する。

避難準備  
情報

避難勧告

避難指示

防災気象情報	注意報	災害が起こる恐れがあるときに、注意を呼びかける予報
	警報	重大な災害が起こる恐れがあるときに、警戒を呼びかける予報
	土砂災害警戒情報	大雨などによる土砂災害の危険度が高まったときに、市区町村が避難勧告などを発令する際の判断や住民の自主避難の参考になるよう、都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報
避難情報	避難準備情報	避難準備の呼びかけと避難行動要支援者などへの早めの避難を呼びかけるもの
	避難勧告	被害を受ける可能性が高まったので避難を勧めます、と避難を呼びかけるもの
	避難指示	避難しなさい、と避難を指示するもの

### 河川水位のサイレン

大雨などにより警戒水位(水位が上昇)、危険水位(低地部では浸水の危険)を突破した場合にお知らせします。

#### 目黒川(立会川) 警戒水位

アナウンス “目黒川(立会川)が警戒水位を超えました。サイレンを鳴らします。”(繰り返し) ご注意ください。

\ウー/ \ウー/ \ウー/

15秒 サイレン 合間 5秒 15秒 サイレン 合間 5秒 15秒 サイレン 3回

#### 目黒川(立会川) 危険水位

アナウンス “目黒川(立会川)が危険水位を超えました。サイレンを鳴らします。”(繰り返し) ご注意ください。

\ウー——————/

60秒 サイレン 1回

## 避難するときの4つのポイント

### 1. 家を出るときは

- 避難する前は電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を締め、非常持出品を忘れずに持つ。
- 親戚や知人に避難することを連絡し、近所の人に声をかける。

### 2. 車での避難は控えて

- 車での避難は緊急車両の妨げになったり、道路の冠水などにより動けなくなったりする。
- 特別な場合を除き、徒歩で避難する。

### 3. 足元の安全確認

- 冠水した道路は、足元が見えない。
- 傘や長い棒などで足元を確認しながら進むこと。

### 4. がけ崩れなどに注意

- 避難途中の二次災害防止のため、がけ崩れなどに注意する。
- 日頃から地域の危険箇所を把握し、安全な避難経路を確認しておく。

## わが家の防災子エック 風水害対策チェック

- 土のうの設置場所を知っている。
- 防災気象情報・避難情報について知っている。
- 河川水位のサイレン内容を知っている。
- 風水害から避難するときのポイントを知っている。

